

2026年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧 (3月2日)

民間奨学金申請要領 返還支援事業

※民間団体等奨学金の申請方法について、必ず申請要領を確認のうえ手続きを行ってください。 →→ [URL](#)

[URL](#)



○募集要項の請求先について
「大学」と記載されている奨学金→学生支援チーム①番窓口へ取りにきてください。
各団体名が記載されている奨学金→各自でHPからダウンロードしてください。

※地方公共団体等の奨学金返還支援事業についてはこちらに掲載しています。 →→ [URL](#)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限	
直接応募型	一般財団法人飯嶋アイング財団 【特定分野に修学する学生への奨学金】	特定の分野を履修する学部生、大学院生 対象学部:経済学部系、経営学部/商学部系、法学部系、環境科学系、生命科学系、建築系 環境工学系、設備工学系、衛生工学系、宇宙工学系、医療学部系	記載なし	学部生 大学院生	年額36万円 (月額3万円の6ヶ月分を年2回)	給付	全国で33名を上限	一般財団法人飯嶋アイング財団	一般財団法人飯嶋アイング財団	3月31日(火) (必着)	
推薦枠型	公益財団法人 フジクラ育英会奨学金	次の全てを満たす者 (1)大学または大学院に在学している (2)学術優秀、品行方正、身体健康である (3)経済的理由により修学が困難な者 (4)日本国籍を有する	可	学部生 大学院生	学部学生 月額3万~6万円 大学院生 月額4万~8万円	貸与(無利子)	三重大学の推薦枠2名以内 ※学部生を優先	大学(学生支援チーム)	大学(学生支援チーム)	4月13日(月) (16時厳守)	
直接応募型	2026年 公益財団法人 服部国際奨学財団	正規学生のうち学業、人物ともに優秀かつ健康であって学費の支弁が困難と認められる者 他の機関から、給付、貸与に関わらず月額100,000円以上の金額の奨学金を受けいない者 在籍する大学・大学院の正規の最短修業年限を超えていない者 財団の行事に積極的に参加し国籍、民族文化の違いを認め多様性を尊重することができる者 *2026年7月5日に名古屋市内で開催する服部奨学金授与式に出席することができる者	可(条件あり)	【大学生】2026年4月1日の時点で【四年制大学】学部生(25歳以下) 【六年制大学】学部生(26歳以下) 【大学院生】修士課程(博士前期課程/専門職学位課程/五年一貫型博士課程1~2年(30歳以下) 博士後期課程(35歳以下) *博士課程(博士後期課程/五年一貫型博士課程3~5年(35歳以下)	月額 12万円 給付期間:2年間 (2026年4月~2028年3月)	給付	全国で80名	服部国際奨学財団	公益財団法人 服部国際奨学財団	2月25日(水)9時~ 3月10日(火)17時 ①(ア)エントリーで受付番号を取得 ②(ア)エントリー後エントリー【オンラインフォーム(受付期間(3/1109:00~3/23 16:00)+推薦書の郵送の両方必要】	
推薦枠型	令和8年度 JEES・太平洋セメント奨学金	学内のみの周知に限定されているため、以下moodleへログインして募集要項等を確認してください。 https://lms-m41.mie-u.ac.jp/course/view.php?id=3917							大学(学生支援チーム)	大学(学生支援チーム)	3月27日(金) (17時厳守)
直接応募型	2027年度 公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	以下のすべてを満たす方。 ①日本国籍を有する方。 ②日本国内に設置されている大学院に修士又は博士の学位の取得を目的として入学することを希望し2026年度に大学院の入学試験を受験する方、または応募時点で左記の教育課程に在籍している方(博士課程【博士後期課程】の最終学年に在籍している方を除く。) ③大学院において食品科学等の分野を専攻し、将来、社会に貢献しようとする意欲を有している方。 ④経済的理由により修学のための奨学金を必要としている方。 【対象外】・社会人大学院生・公的制度による資金や在籍する大学院の奨学金(給付型)によって合計で月額20万円以上の経済的支援を受けている方、または受けていることが決定している方。 *学部生、大学院生であり、下記のいずれにも該当しなければなりません。	条件により不可	大学院生 (2027年4月1日時点)	(修士課程)月額 23万円 給付期間:2年間 (2027年4月~2029年3月) (博士課程)月額 23万円 給付期間:3年間 (2027年4月~2030年3月)	給付	30名程度	公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	4月1日(水)9時~ 5月20日(水)17時	
直接応募型	一般財団法人サン佐藤財団	①日本国籍を有し、心身ともに健康で、全日程(事前・事後オリエンテーション含む)に参加可能な者 ②国際交流・コミュニケーション意欲を有し英語での基本的なコミュニケーションに支障がない者 ③パスポートを所持している、又は研修開始までに取得可能な者 ④財団が課す課題(研修報告書の提出等)を期日までに提出できる者 ⑤令和8(2026)年4月1日の時点で年齢が18歳以上、30歳未満であること ⑥学業成績が優秀であること(下記のいずれかに該当すること) ア.在校生の場合、学校入学時から直近までの学業成績において、GPA(平均成績)が2.4以上 イ.四年制大学の1年生であり、在籍校の成績証明書の取得ができない場合は、高等学校等における評定平均が3.5以上 ウ.高等学校卒業程度認定試験の合格者であること ⑦研修実施日(事前・本研修・事後)に、修学している学校に在籍していること(休学は対象外) ⑧経済的理由により海外研修への参加が困難であり家計支持者の収入状況等から支援の必要性が認められる者 ⑨下記のいずれかの分野に関連する科目を履修できる学科に在籍していること <主な科目>経済学部系、経営学部/商学部系、法学部系、環境科学系、生命科学系、	記載なし	学部生・大学院生 (2026年4月1日現在)	研修費用負担【財団負担】 ア.航空券 イ.宿泊費 ウ.現地交通費 エ.研修費 オ.海外旅行保険 カ.国内交通費その他当財団が必要と認める費用	給付	12~13名(予定)	一般財団法人サン佐藤財団	一般財団法人サン佐藤財団	2月16日(月)~ 3月31日(火)(必着)	

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
推薦枠型	公益財団法人 吉田育英会 マスター21	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有する方。 ・2026年4月1日現在において、27才未満である方。 ・2026年4月1日現在において、学部4年次に在学中の方。 ・2026年秋季または2027年春季に日本の大学院修士課程(標準修業年限が2年で、修了者に修士の学位が授与される課程。博士前期課程を含む。)または、一貫性博士課程に入学を希望する方 ・進学先において日本の大学院の学籍を有し、自然科学系分野を専攻する方。(工学、農学、医学等の応用科学の分野を含む) ※以下の点に注意してください。 当会の奨学期間中に民間の貸与・給与奨学金との併給は不可(JASSO貸与型は可) 進学先大学院は、在学中の大学院と異なっても構わない(国公立、私立の別は問わない) 家計基準(世帯の家計支持者ならびに本人及び配偶者の収入による応募制限等)はない	民間の給付・貸与奨学金との併用は不可 (但し、JASSO貸与型は可)	推薦依頼校(三重大)の学部4年生 (2026年4月1日現在)	(1)いずれかから選択 ア:奨学期間を通じて月額8万円 イ:学校納付金として、奨学期間内に合計250万円以内の実費 学校納付金には、入学金、授業料、施設費、実験研究費等の名目で大学に対して半期又は1年毎に納付する費用を含みます。 (2)海外での研究活動支援のための奨学金として、奨学期間内に合計50万円以内の実費	給付	15名 (内、三重大からの推薦は1名)	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月15日(水) (16時厳守)
直接応募型	2026年秋季・2027年春季 公益財団法人 吉田育英会<ドクター21>	次に掲げる要件をすべて満たす方 <ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有する方。 ・2026年4月1日現在において、30歳未満である方。 ・2026年4月1日現在において、大学院修士課程(博士前期課程を含む。)または一貫性博士課程の2年次に在学中の方。 ・2026年秋季または2027年春季に大学院博士後期課程(標準修業年限が3年で、修了者に博士の学位が授与される課程)に入学を希望する方、または一貫性博士課程の3年次に進学もしくは編入学を希望する方。 ・進学先において日本の大学院の学籍を有し、自然科学系分野を専攻する方。 ※以下の点に注意してください。 進学先大学院は、在学中の大学院と異なっても構わない(国公立、私立の別は問わない) 家計基準(世帯の家計支持者ならびに本人及び配偶者の収入による応募制限等)はない *他団体奨学金との併給の可否については、募集要項に記載されているのでHPで要確認	併給可能とする給付奨学金に上限(年間100万円)を設定 日本学術振興会特別研究員(DC1,DC2ともに)は併給不可 民間の貸与奨学金の併用不可(JASSO貸与型は可)	大学院修士課程・博士前期課程・一貫性博士課程の2年次に在学中の方(2026年4月1日現在) または、2026年秋季または2027年春季に日本の大学院博士後期課程(標準修業年限が3年で、修了者に博士の学位が授与される課程)に入学を希望する方、または一貫性博士課程3年次に進学もしくは編入学を希望する方。	・奨学期間を通じて月額20万円 ・学校納付金(学費)として、奨学期間内に合計250万円以内の実費 ・海外での研究活動支援のための奨学金として、奨学期間内に合計100万円以内の実費	給付	5名程度	吉田育英会 ホームページ(リンク)	吉田育英会 ホームページ(リンク)	4月10日(金) (応募書類必着)
推薦枠型	2026(令和8年度)年度 公益財団法人 川野小児医学奨学財団	次の要件をいずれも満たすものとする (1)身体が健康であり、気質および素行ならびに学業が良好である者 (2)埼玉県または千葉県内の高校を卒業し、日本国内の総合大学医学部、または医科大学で小児医学を志す大学生、および小児医学研究に従事している大学院生 (3)学長、副学長、または学部長の推薦を受けている者 (4)給付の義務(OBOG向け会員サイト登録など)を果たすことができる者	可 (給付/貸与)	2026年4月時点で 学部学生・大学院生	月額 7万円以内 給付期間:正規の最長就業年限以内	給付	記載なし (三重大からの推薦は2名)	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月24日(金) (16時厳守)
直接応募型	2026年度(令和8年度) 公益財団法人 戸部眞紀財団	(1)日本の大学及び大学院で修学している者(給付対象期間(2026年4月1日~2028年3月31日)を通して日本国内の大学及び大学院に在籍していること (2)学部学生(3年生以上)、大学院学生(修士課程、博士課程の者) ※専門職学位課程は研究論文、またはそれに相当する課題等が修了要件になっていることを条件とする。 (3)年齢が2026年4月1日現在で30歳以下の者 ※育児・病気等、ライフイベントその他の理由によりやむを得ない事情を抱えている場合はその限りではない。 (4)対象分野で修学している者 (5)向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者 (6)学資の支弁が困難と認められる者 (7)奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者	可 (ただし給付金額が半額になる場合あり)	化学、食品科学(「食全般」に関する研究を対象とする)、芸術学/デザイン学、体育学/スポーツ科学、経営学(ビジネス・公共経営、マーケティング等)の5分野で修学している 学部学生 3年生以上 大学院生(修士課程、博士課程の者) (令和8年4月1日時点で) ※専門職課程は研究論文、または、それに相当する課題等が修了要件になっていることを条件とする。	大学院:月額:7万円(年額:84万円) 学部:月額6万円(年額:72万円)(2年間) *給付期間終了後、実績などを審査し、1年間を限度に継続を認める場合有り ※ただし、公的な支援制度との併用の場合、半額になる可能性が有り(他機関との合計が概ね200万以上)	給付	60名 (内留学生5名) *留学生の方は国際戦略チームへ問い合わせして下さい。	戸部眞紀財団(2026年度版は3月初旬にUP予定) 電子申請システムから登録後にマイページを取得	戸部眞紀財団 【4/17(金)16時までには大学に提出書類一式を持参して推薦書作成を依頼すること】	「Web〆切」: 5月8日(金)23:59 「郵送〆切」: 5月12日(火) (財団へ必着) の両方での提出が必要
直接応募型	2026年度(第8期) 公益財団法人 サカタ財団	下記のいずれにも該当するもの 2026年4月1日時点にて、以下のいずれかに該当する日本国籍をもつ学生とする。 ①大学に在籍する大学2年生に在籍するもの ②大学院に在籍し、修士課程1年生、または博士課程前期1年生に在籍するもの ③一貫性博士課程(5年制)の1年生に在籍するもの 当財団以外の団体から奨学金を受給していないこと	不可 (日本学生支援機構もしくは三重大の奨学金受給者除く)	学部生(大学2年生) 大学院生(修士課程1年生) (博士前期課程1年生) (一貫性博士課程1年生) (2026年4月1日現在)	月額 7万円 (3か月分一括で支給) 給付期間:2026年7月~正規課程修了年限まで	給付	15名	サカタ財団奨学金	公益財団法人 サカタ財団事務局	4月1日午前10時~ 5月15日午後3時 (応募書類必着)
直接応募型	2026年度 公益財団法人キーエンス財団 「がんばれ!日本の大学生」 応援給付金	次の(a)~(f)の条件を満たす者 (a)日本の大学に在籍する大学生(2026年度の新1年生を除く)である者(4年生の学部・学科生に限る。留学生を除く) (b)2026年4月1日現在、23歳以下である者 (c)最短修業年限にて卒業の見込みがある者 (d)昨年までの「がんばれ!日本の大学生」応援給付金を受給していない者 (e)当財団の奨学生ではない者 (f)勉学に励み、目標をもって頑張っている大学生	可 (給付/貸与)	2026年4月1日時点で 学部2・3・4年生	30万円 (一括給付)	給付	全国で 5,000名程度 (2026年4月進学者)	がんばれ!日本の大学生 応援給付金	応援給付金	3月2日~ 4月15日(午前10時) 財団HP上にて必要事項をWEB登録(入力)

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限	
直接応募型	2026年度 公益財団法人 キーエンス財団	次の①～③の条件を満たす者 ①日本国内の4年制大学に2025年4月入学の新1年生(留学生除く) ②2026年4月1日現在、20歳以下である ③経済的な支援を必要とする *日本学生支援機構を含む他の奨学金との併用について(併用とは、当財団の奨学金に加え、期間を一部でも重複して他の奨学金を受給すること) ・貸与型奨学金:併用可 ・給付型奨学金:併用不可(ただし海外留学支援の奨学金は併用可) ・国の修学支援制度による授業料免除:併用可 大学独自の制度のうち現金が給付されるのではなく、大学に納付する授業料が実際に減額、または免除される制度:併用可	可(貸与) 不可(給付) *ただし、 ・国の修学支援制度による授業料等減免:併用可 ・大学独自の制度のうち現金給付でなく大学に納付する授業料減額、又は、免除:併用可	2026年4月入学の新1年生	12万円 (年額144万円) 給付期間:4年間 (最短修業年限)	給付	全国で 1,500名程度	キーエンス財団奨学金	キーエンス財団奨学金	2月2日(月)～ 4月3日(金)(午前10時) 財団HP上にて必要事項をWEB登録(入力)	
直接応募型	公益財団法人 センコーみらい財団	・文部科学省の「高等教育の就学支援制度」の対象者(多子世帯を含む)であり、予約された方 ・2026年4月入学予定の新1年生であること ・「THE日本大学ランキング2025総合ランキング」の上位100位位内の大学へ進学する方 ・4年生の学部・学科であること(6年制の学部・学科は除く) *国公立の自宅生は対象外	記載なし	2026年4月1日時点で 学部学生(新1年生)	月額 5万円(学部生)	給付	20名程度	公益財団法人 センコー未来財団事務局	公益財団法人 センコー未来財団 事務局	3月1日(日)～ 4月15日(水)	
推薦枠型	令和8年度 JEES・東ソー人材育成奨学金	学内のみの周知に限定されているため、以下moodleへログインして募集要項等を確認してください。 https://lms-m41.mie-u.ac.jp/course/view.php?id=3917							大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	3月11日(水) (17時厳守)
大学とりまとめ型	2026年度 一般財団法人エス・シー・ビー育英会	①2026年4月1日現在、大学(学部、大学院)に在学していること。 ②原則として化学に関する分野を専攻をしていること。(応用化学、物質科学、天然物化学、材料科学、物理化学、生物学、薬学、農芸化学等) ③学業優秀、品行方正、明朗闊達な者 ④学長、学部長、学科長または指導教員等の推薦があること ⑤日本国籍を有すること ⑥他の奨学団体からの給付については条件なし	可	2026年4月1日時点で 学部生・大学院生	月額 3万円(学部生) 月額 5万円(大学院生)	貸与	若干名	大学 (学生支援チーム)	学生支援チーム	(1次募集)4/24(金)必着 (2次募集)7/27(月)必着 (3次募集)10/23(金)必着 (4次募集)2027.1/22(金)必着 (注)3・4次募集は、就業最終学年申請不可	
直接応募型	公益財団法人ナガワひまわり財団	次の①～⑦の条件を満たす者 ①2026年4月1日時点で、日本国内の大学 学部(2～4年)、大学院修士課程・博士(前期)課程に在学する者 ②2026年4月1日時点で、原則として学部生は満23歳以下、大学院生は満25歳以下 ③原則、前年度までの成績(GPA)が、3.00以上の者 ④給与収入世帯の場合、世帯合計収入800万円未満、給与収入以外の世帯の場合は、自営業などその他所得400万円未満の者 ⑤在学する学校長、学長、研究科・専攻長、指導教官等の推薦する者 ⑥学費の支弁が困難と認められる者 ⑦心身ともに優れている者	可	2026年4月1日時点で 学部(2年～4年) 大学院(修士・博士前期課程)	月額 3万円 (年額36万円) (給付期間): 正規の最短修業年限	給付	60名程度(予定)	公益財団法人 ナガワひまわり財団 事務局	公益財団法人 ナガワひまわり財団 事務局	4月1日(水)～5月10日(日) (財団HP上にて必要事項をWEB登録(入力)) (注)3月上旬より財団HP上で最新版をご確認ください。	
大学とりまとめ型	令和8年度 公益財団法人 G-7奨学財団	①2026年4月現在、大学又は大学院に在籍し、学業優秀、品行方正で、学修意欲があり心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であるとみとめられること。 ②日本国籍を有していること。 ③他の奨学金制度との併用・併願は可能(ただし、支給額を調整することがある。)	可(支給額調整の場合も有)	2026年4月時点で 学部学生・大学院生	月額(上限)10万円 (年間上限120万円) 給付期間:1年間	給付	120件程度	公益財団法人G-7奨学財団	大学 (学生支援チーム) (4/3までに学生支援チームへ申請書類一式持参し推薦書作成を依頼すること)	4月1日～4月3日 (16時厳守)	
推薦枠型	令和8年度奨学生 公益財団法人シマノ財団	①学業・人物共に優秀で経済的理由により修学が困難とみられる学生 ②年1回の奨学生交流会(大阪)等、当財団の行事に出席できる者及び年2回の状況報告ができる者(交流会は9月中頃を予定) ③他奨学金との併給は差しつかえない。ただし、合計額は10万円を超えない範囲とする ④工学部、理学部在籍の学生 ⑤30歳以下の学生 ※原則として継続応募はできません。	可(ただし合計額が10万円を超えない範囲で)	工学部の2年生又は3年生 (令和8年4月末時点)	月額 2万5千円 給付期間:2年間	給付	三重大学の推薦枠:2名	大学 (学生支援チーム)	大学 (学生支援チーム)	4月3日(金) (16時厳守)	
直接応募型	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団	国内の大学院で食品科学等の分野の修士または博士学位取得を目指して学ぶ方 (日本国籍を有する方)	記載なし	2026年4月に大学院へ入学予定の者	月額:23万円 (給付期間:標準修学期間) (年額276万円)	給付	30人程度 (修士、博士計)	公益財団法人飯島藤十郎 記念食品科学振興財団	公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学 振興財団	4月1日(水)～ 5月20日(水) (応募書類必着)	
推薦枠型	令和8年度 公益財団法人森下仁丹奨学金	以下のいずれの各項のも該当する者 志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な日本国内の大学生又は大学院生(ただし留学生は除く) 家計基準・日本学生支援機構第一種奨学金に準ずる。 大学院生についても日本学生支援機構の学部生と同等の家計基準を適用する。 1.家計基準 ・日本学生支援機構第一種に準ずる。 大学院生についても日本学生支援機構の学部生と同等の家計基準を適用する。 2.人物基準 ・就学の意志が固く、責任感が強く、学生生活全般を通じて態度、行動に良識があり、且つ修業後、社会に有用な人材と為り得る者。 ・年齢の制限はなし 3.健康基準 ・大学の保健センター、または医師が発行した健康診断書により、就学に支障がないと認められる者。 4.学力基準 前年までに標準習得単位を修得済であり、且つ前年度までの通算GPA値が2.8以上	日本学生支援機構等返還を要する貸与型奨学金を除き、他の給付型奨学金との併用不可 但し、授業料の減免または免除については併用可	学部生・大学院生	月額:4万円 (給付期間:2026年6月～最短修業年限)	給付	三重大学の推薦枠 1名	学生支援チーム	学生支援チーム	3月6日(金) (16時) (提出期限延長)	

奨学金種別	奨学団体等	必要資格	他奨学金との重複	対象学年	金額	給付・貸与の別	募集人員(全国で)	募集要項の<請求先>	申請書類の<提出先>	提出期限
直接応募型	公益財団法人 日本通運育英会 2026年度奨学生	以下のA～Dの各項目いずれにも該当する者 A 交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が交通事故により重度の心身障害(*1)を負った方。 あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。(*2) (*1)保護者等の重度の心身障害とは、次のいずれかに該当することを言う。 1. 障害手帳1～4級 2. 精神障害者手帳1～3級 3. 自動車損害賠償保障法施行令別表第1及び第2の1～7級 (*2)学生本人の場合は、上記(*1)を適用せず、軽度であってもその障害もしくは傷病と交通事故との因果関係が交通事故証明書、診断書等で認められれば、対象となる。 B 2026年4月現在、18歳以上21歳以下の者 C A項を原因として、経済的に就学が困難であると認められる方。 D 学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方。	可	学部生 (2026年4月1日現在)	月額 3万円 (年額:36万円) 給付期間:最短修業年限	給付	全国で20名	日本通運育英会奨学資金	日本通運育英会 (4/17(金)16:00までに、推薦以外の提出書類一式を作成のうえ、学生支援チーム①番窓口持参し、推薦書作成を依頼すること)	4月1日(水)～ 5月15日(金) (事務局必着)
直接応募型	マイベスト奨学金	2025年4月1日時点で、日本国内の高校、高専、大学、短大、または専門学校に在籍しており、かつ年齢が20歳以下であること。	可	2025年4月1日時点で 学部生	10万円 (一括給付)	給付	(年間) 合計15名程度	マイベスト奨学金	マイベスト奨学金	【第1回】 6月1日～9月30日 【第2回】 10月1日～2026年1月31日 【第3回】 2026年2月1日(日)～5月31日(日)

は新着情報です。

※ 掲 示 期 限 : 2026年5月31日 (それ以前に内容更新があった場合は、その更新(差替え)時まで)